

「残留応力の基礎及び測定方法」

- ・残留応力ってどのように発生するの？
- ・残留応力を低減したい、活用したいが具体的な測定方法がわからない。

金属部品等の様々な製造過程で発生する残留応力は部品強度に大きな影響を与えるととも残留応力が原因の製品不良は改善が難しく、様々な業界で部品製造における悩みの種となっています。

しかし、その発生メカニズムやメリットとデメリットを学び、うまく活用することで、部品強度アップも可能であるという側面も持っています。

本講習会では、残留応力の基礎から低減方法や活用方法などを学んでいただくとともに、実際にX線残留応力測定装置とサンプルを用意し、実機測定にふれることで測定方法や測定事例について学んでいただきます。

日 時 令和6(2024)年9月25日(水) 13:30～16:30(受付開始 13:00)

場 所 栃木県産業技術センター 大会議室

宇都宮市ゆいの杜1-5-20(とちぎ産業創造プラザ内)

定 員 30名 受講料 無料

講 師 パルステック工業株式会社 営業部 営業1課 係長 谷高 弘将 氏

申込方法 別紙の申込書に御記入の上、**9月13日(金)**までにFAXでお申し込みいただくか、とちぎ地域企業応援ネットワークポータルサイト(<https://tochigi-network.com/event/2574>)の応募フォームからお申し込みください。

申込及び問合せ先 栃木県産業技術センター 機械電子技術部 担当: 棚原・水掬

TEL:028-670-3396 FAX:028-667-9430

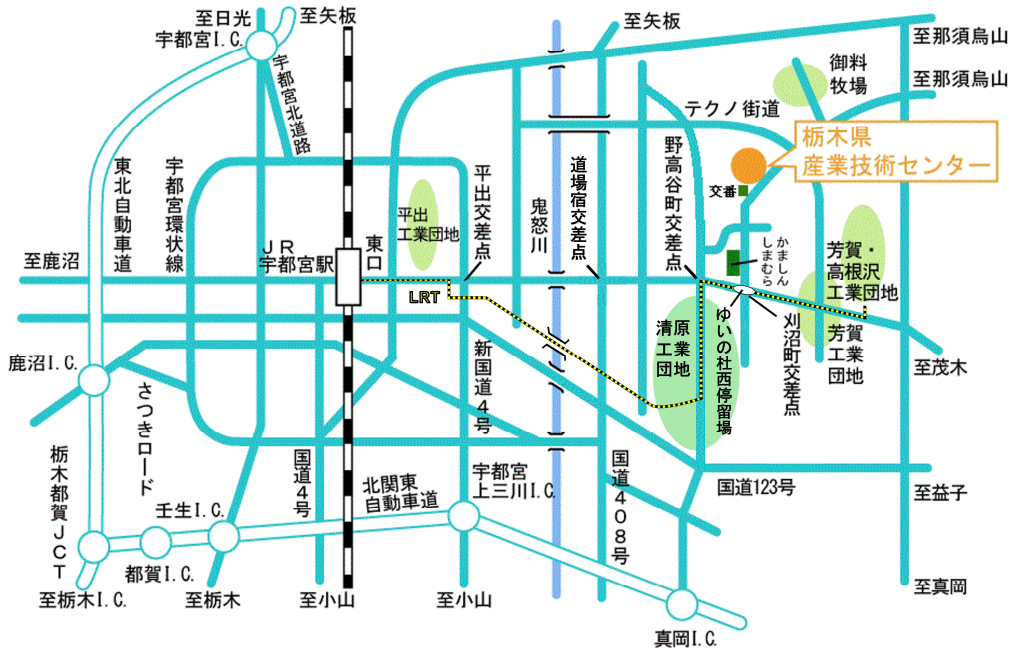


令和6(2024)年 月 日

会社名			
住所			
電話番号		FAX番号	
連絡担当者 e-mail※1		(氏名) (e-mail)	
参加者	所属・職名	氏 名	

原則、先着順としますが、定員を超えた場合は1社あたりの人数を調整させていただきます。
 また、申込を受理した場合には、改めて決定の連絡はいたしません。

担 当
 機械電子技術部 棚原・水掬
 TEL :028-670-3396
 FAX :028-667-9430



お車: JR宇都宮駅東口から東進、鬼怒川を渡り信号4つ目「刈沼町」交差点左折、約700m (JR宇都宮駅から約9km)
 LRT: JR宇都宮駅東口から、LRT(路面電車)「ゆいの杜西」停留場下車、北に徒歩約15分